

# Press Release

◆ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

横浜国際センター 市民参加協力課

TEL: 045-663-3221(直) FAX:045-663-3265

担当: 須藤・原田

2013年11月8日

## 横浜企業の技術でインドネシアに安定した水の供給を

### 横浜の漏水探査器メーカー、(株)グッドマンと JICA が連携

#### インドネシア国メダン市で漏水調査と水道管の維持管理指導を実施

水道管の老朽化に伴い漏水が頻発しているインドネシア国の水道事業を改善するべく、国際協力機構(JICA)は11月8日、横浜市の株式会社グッドマン(渡邊研一社長)と契約し、同国北スマトラ州メダン市で漏水調査及び水道管の維持管理指導を実施します。同社が独自開発した漏水探査器を活用して水道管からの漏水部位を確認し、その部位を修繕する技術、さらに、水道管の適切な維持管理に係る指導を行い、水のロスを減らすことを目的としています。



左) D-305 専用ケースに収まり、持ち運びが自在  
右) D-305 を使用した漏水探査実施の様子

北スマトラ州においては、それら経済活動を支える基本的社会インフラである上下水道整備・改善が重要な課題と認識をしています。北スマトラ州水道公社は2023年までに無収水率(配水したものの、漏水等により水道料金収入に結びつかない率)を15%にまで下げるという目標を掲げていますが、現状ではそれが約28%と高く、改善が急務となっています。

今回の事業では、グッドマンが独自開発した樹脂管に特化した漏水探査器「D-305」を活用し、樹脂管の水道管が多い北スマトラ州メダン市にて漏水削減にあたります。同機器は、樹脂管の中を流れる水を電線に見立てて、そこに電気を流し、地上の受信機で信号を読みとることで、漏水を探査するものです。漏水のある場所では電気を流す水が管から漏れ出すため、信号が弱くなり、漏水を発見できます。この方法により、従来機器では音聴に頼っているため車通りの少ない夜間が中心とならざるを得なかった漏水調査が日中でも実施できるようになりました。

また、グッドマンは横浜市水道局の設立した水道事業体である横浜ウォーターと協力し、本事業を通じて北スマトラ州水道公社が自立して持続的な水道管の維持管理を実施できるような技術的支援も実施します。

この取り組みは、我が国の中小企業を対象に、JICAが本年度より開始した「民間提案型普及・実証事業」として実施されるものです。この事業は、我が国の中小企業などの製品・技術が途上国の開発に有効であることを実証するとともに、その現地での適合性を高め、普及を図ることを目的としたもので、平成25年5月に第一回の公示を行いました。